

町政を問う

人気堆肥（バキューン）の増産体制を



堆肥センターでの作業

町長 前年の倍以上の利用があり底をつき待機状態となった。来年以降は施設の利用を工夫するこ

幸本 堆肥の利用者が多くなり、喜ばしいことであるが、生産が追いつかず、一時期待機状態となり、ご利用頂いている方にご迷惑をお掛けした。今後この待機の対応策はどのように考えるか伺う。

堆肥センターの品薄対策について



幸本 元

施設の拡充を！

町長 施設の利用を工夫

とと、申し込みを事前に受けて調整しながら早い引き取りをお願いし、こまめに積み上げて対応する。

また、千三百トンを超えた場合は、施設の増設も視野に入れながら検討する。

幸本 前向きなご答弁を頂きありがとうございませう。現在の生産体制を変えなければ今後も待機状態が続くものと考えます。発酵促進剤等の使用または、他の技術的な方法等を検討し、利用者ニーズに定める増産体制をとるべきと考えるので今後の対応を願う。

町文化財等の案内看板及び説明看板の管理について

幸本 昨年九月議会で文

町文化財看板の早急な整備を！

教育長 看板の設置、今年度二箇所予定

化財の整備について質問があつたが、町文化財等の案内看板が破損し、撤去したままの箇所や、説明看板の汚れで説明文が読めない状況で管理ができていない箇所がある、看板等の維持管理について

の対応策はどのように考えているか伺う。

教育長 十四件の指定文化財があり指導員の点検が行われ、その報告を受けている。改修が必要な箇所があり今年度は、大寺廃寺と大原安綱の看板の設置をする予定である。他の整備については、年次的に行っていきたい。

幸本 昨年の九月議会の答弁で老朽化した所があり二十一年度に六件の整備をするところだが、整備状況はどうなっているか伺う。



岸本要害跡の看板

教育長 六件の整備状況は、県道沿いの所は遅れているが、今、取り掛かっている。

幸本 町内には多くの貴重な文化財が存在し、町内外の多くの方から関心を寄せて頂き、足を運ばれている。大原集落には、大原安綱の発祥の地の石碑が建立されており、案内看板が撤去のままとなっている。地元の方から

の声として、拝見に來られた方が、場所がわからず、日に三回も場所を尋ねられることがある。早急な看板設置をするよう貴重な問題提起を頂いているので、早急に設置してはどうか。

また、立派な伯耆町文化財ガイドブックが発刊となった。発刊に当たられた編集委員の皆様始め、関係各位におかれましては、多くのご労苦があつたと思う。

ご労苦に対し敬意を表したい。ガイドブックが発刊となり文化財に関心のある方は、足を運ばれる機会が多くなると思う。整備については、早急の対応をされることを願う。